



平成 30 年 10 月 9 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 幸 和 製 作 所  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 玉 田 秀 明  
(コード番号：7807 東証 J A S D A Q)  
問 合 せ 先 取 締 役 管 理 本 部 長 大 井 実  
(TEL. 072-238-0605)

特別損失の計上、業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、平成 31 年 2 月期第 2 四半期連結会計期間（平成 30 年 6 月 1 日～平成 30 年 8 月 31 日）に特別損失を計上するとともに、平成 30 年 4 月 6 日に公表しております平成 31 年 2 月期（平成 30 年 3 月 1 日～平成 31 年 2 月 28 日）の通期連結業績予想ならびに配当予想について修正することを決議しましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失の内容

平成 30 年 8 月 2 日付の「歩行車『ミケーレ WAG01』の自主回収のお知らせ」にてお知らせしておりました自主回収にともなう費用として 69 百万円を製品自主回収関連費用として平成 31 年 2 月期第 2 四半期連結会計期間（平成 30 年 6 月 1 日～平成 30 年 8 月 31 日）において特別損失に計上しております。

2. 平成 31 年 2 月期 連結業績予想数値の修正

(平成 30 年 3 月 1 日～平成 31 年 2 月 28 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回公表予想 (A)	5,032	154	141	172	43.54
今回修正予想 (B)	4,451	△304	△300	△407	△101.34
増減額 (B - A)	△581	△459	△442	△580	
増減率 (%)	△11.6	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (平成 30 年 2 月期)	5,093	562	453	356	100.60

(修正の理由)

平成 31 年 2 月期における当社グループの売上高は、44 億 51 百万円と前回発表予想を 5 億 81 百万円下回る見通しとなりました。これは、主に当期に売上拡大を計画しておりましたロレータ型歩行車「Michele (ミケーレ)」の自主回収にともなう出荷停止や、また、回収作業にともない営業活動が制約されるなどの影響を見込んでおります。

損益面については、売上高の減少により売上総利益が減少したことや販売促進のための協賛金の増加、介護ロボット開発にともなう試験研究費および支払手数料の増加等により 3 億 4 百万円の営業損失を見込んでおります。また、この営業損失の計上にともない 3 億円の経常損失を見込んでおり、さらに、特別損失として製品自主回収関連費用 69 百万円の計上と、今後の業績見通しを検討し、繰延税金資産 43 百万円を取り崩した結果、親会社株主に帰属する当期純損失として、4 億 7 百万円を見込んでおります。

### 3. 平成 31 年 2 月期 配当予想の修正

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
前回公表予想 (平成 30 年 4 月 6 日発表)	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 13.00	円 銭 13.00
今回修正予想			—	0.00	0.00
当期実績	—	0.00			
前期実績 (平成 30 年 2 月期)	—	0.00	—	82.14	82.14

(修正の理由)

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要な課題と位置付けております。当社の利益配分につきましては、配当性向 30%を基本方針としておりますが、上述のとおり平成 31 年 2 月期通期の親会社株主に帰属する当期純損失は 4 億 7 百万円の見通しとなりました。期末配当予想につきましては、平成 30 年 4 月 6 日に 1 株当たり 13 円と発表しておりましたが、これらの結果を勘案し誠に遺憾ながら、無配に修正させていただくこととなりました。

以上